



100年後も誇れるまち太宰府の、
新たな魅力が再発見される瞬間...

ぜひ、
お立ち会いください!!

第4回 太宰府市 景観・市民遺産会議

日時 平成26年 **3/22** **土** 14:00~16:10
(開場13:30)

会場 **九州国立博物館ミュージアムホール**
定員250名〈観覧無料・申込不要、手話通訳・要約筆記あり〉



提案予定市民遺産候補
かるかや
「苅萱の関跡とかるかや物語」
(提案団体：かるかや物語を伝える会)

■育成活動報告予定の市民遺産



太宰府市民遺産第7号
「隈麿公のお墓」



未来に届けたい、太宰府のだから



太宰府市民遺産第8号
「太宰府の絵師 萱島家」

詳しくは、太宰府市景観・市民遺産会議ホームページをご覧ください。

<http://www.市民遺産.jp/> または QRコード▶



- 主催／太宰府市景観・市民遺産会議、太宰府市、太宰府市教育委員会
- 後援／福岡県、福岡県教育委員会、(公財)太宰府市文化スポーツ振興財団、太宰府天満宮、太宰府市商工会、太宰府観光協会、一般社団法人つくし青年会議所、NPO法人太宰府ボランティアネットワーク、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、FBS福岡放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、TVQ九州放送、ケーブルステーション福岡
- 問い合わせ先／太宰府市教育委員会文化財課または太宰府市都市計画課
〒818-0198 太宰府市観世首寺1丁目1番1号

☎092-921-2121 内線 470(文化財課)・424(都市計画課)

未来の太宰府に届けたい、 みんなのたからもの『太宰府市民遺産』

太宰府市民遺産とは…

市民が、「未来の太宰府に伝えたい」と思う太宰府固有の物語と、関連する文化遺産と、物語を伝える活動(育成活動)とを合わせて、『太宰府市民遺産』といいます。

景観・市民遺産会議の場で、市民が提案をし、会議が認定をしたもので、これまでに8つの市民遺産が認定されています。



太宰府市民遺産
ロゴマーク

認定されている太宰府市民遺産

- 第1号 太宰府の木うそ
- 第2号 八朔の干燈明
- 第3号 かつてあった道 四王寺山の太宰府町道
- 第4号 芸術家 富永朝堂
- 第5号 万葉集つくし歌壇
- 第6号 太宰府における時の記念日の行事
- 第7号 隈麿公のお墓
- 第8号 太宰府の絵師 萱島家

市民遺産候補

かるかや 荻萱の関跡とかるかや物語

太宰府市坂本の旧国道3号線沿い、水城小学校前の交差点を「関屋」といい、かつてこの辺りに「荻萱の関」という関所があったと伝えられています。その関守であった加藤繁氏(荻萱道心)とその息子・石堂丸との悲しい親子の物語が、説経「かるかや」として全国に知られており、浄瑠璃や能、文楽などにとり上げられ、今に伝えられています。



提案団体の「かるかや物語を伝える会」は、この荻萱の関跡と荻萱道心・石堂丸の物語を伝えたいと坂本区・通古賀区の住民が中心となって結成されました。

全国初!

太宰府市民遺産の取り組み

太宰府市は、自然と歴史と暮らしが調和した、魅力ある住みやすいまち、百年後も誇りに思えるまちの実現を目指し、「太宰府の景観と市民遺産を守り育てる条例」(平成22年10月1日施行)を制定し、「景観・市民遺産会議」で認定を受けた『太宰府市民遺産』を市民・事業者・行政で協働して守り育てていく取り組みを始めました。

太宰府市景観・市民遺産会議や、市民遺産に関するお問い合わせは、...

太宰府市教育委員会文化財課
TEL092-921-2121 (内線470)

育成団体の結成から市民遺産の提案まで、お手伝いします。
お気軽にご相談ください。



会議の主な内容

13:30 開場

14:00 開会

1. 平成24年度認定の太宰府市民遺産の活動報告

◆市民遺産第7号「隈麿公のお墓」
育成団体：榎文化保存会

◆市民遺産第8号「太宰府の絵師 萱島家」
育成団体：絵師 萱島家保存会

2. 太宰府市民遺産候補の提案と認定採決

◆市民遺産候補：「かるかや 荻萱の関跡とかるかや物語」
提案団体：かるかや物語を伝える会

16:10 閉会

※当日提案される市民遺産候補内容は、変更となる場合があります。
また、会議の進行状況によって、終了時刻が多少前後する可能性があります。



市民遺産第7号 隈麿公のお墓



市民遺産第8号 太宰府の絵師萱島家

同時開催

太宰府市民遺産パネル展

これまでに認定された8つの市民遺産を紹介するパネル展示です。
3月22日には、育成団体によるポスターセッションもおこなわれます。

期間：平成26年3月18日(火)～3月23日(日)
場所：九州国立博物館エントランスホール

入場無料

同日開催

太宰府木うそ保存会発足15周年記念シンポジウム 「創り継ぐ～伝統文化の継承と課題～」

日時：平成26年3月22日(土)
午前10時～正午

場所：九州国立博物館ミュージアムホール

入場無料
事前申込不要

- ◆基調講演
「鶯かえの源流と展開」
森 弘子(福岡県文化財保護審議会専門委員)
- 「木うその伝承と変容」
柳 智子(春日市文化財課発掘調査指導員)
- ◆パネルディスカッション
講演者2名を含めた計5名のパネリストによる
パネルディスカッション